



別府市消防団報『暖』

3号

別府市を震度6弱の地震が襲う！



平成28年4月16日午前1時25分に熊本地方及び大分県中部を震源地とするマグニチュード7.3及び5.7、別府市においては観測史上最大となる最大震度6弱を記録する地震が発生しました。

地震直後から、多くの分団が、地区内の落石危険箇所や水道管の破損箇所等を点検し、その後、団長命により格納庫での待機命令が出されました。

4月20日の第20回災害対策本部会議からは団長も出席し、この会議の中で別府市消防団に防火パトロールが依頼され、4月20日から4月28日の間、20時から22時頃まで、別府市指定避難所周辺のパトロール及び避難所への声掛けや広報活動を行い、警戒・警備に努めました。

今後も、団活動に気を緩めることなく、そして地域に根付いた活動に徹してまいります。



ごあいさつ

別府市消防団長
片岡 典之



別府市消防長
河原 靖繁

団員の皆様には、様々な職業に就きながら、火災をはじめとする各種災害に身を挺して郷土を守る、崇高な任務を担っていただき感謝に堪えません。

平成28年度は、4月の林野火災に続き、16日には震度6弱の強い揺れを伴う地震に見舞われ、団員の献身的な活動にお礼を申し上げます。

癒しの場として、訪れる観光客や安心して過ごせる市民のため、今後ともご協力をお願いします。

この団報「暖」3号は、活動の一部を皆様にお伝えしておりますが、皆様から投稿などもいただき、充実した内容に努めますのでご支援とご協力をお願いします。

この度、別府市消防団報「暖」3号の発刊にあたり、一言ごあいさつ申し上げます。

団長をはじめ団員の皆様には、「市民の生命・身体・財産を守る」という尊い郷土愛の精神で、日頃の消火活動のみならず、昼夜を問わず果敢に行っている防災活動は、地域防災力の中核として不可欠な存在となっており、地震災害等の団活動に深く感謝申し上げる次第であります。

結びに、この団報「暖」が、市民や消防職・団員に親しまれるコミュニティー広報誌となりますようご祈念申し上げます。

第29回大分県消防操法大会に第5分団出場

平成28年8月21日(日)、大分県消防学校において第29回大分県消防操法大会が開催され、別府市からは第5分団がポンプ車の部に出場しました。

年明け早々から出場選手による自主的な事前の勉強会に始まり、5月からは週2回の実践訓練を重ね、大会が迫るにつれ訓練回数を増し大会に臨みました。

猛暑の中健闘した選手のみならず、第5分団員全員で取り組んだ大会でもあり、今後の現場活動にも活かせるチームワークの良さをうかがうことができました。

選手の皆さんそして、第5分団員の皆さんお疲れ様でした。



☆副市長より激励のことばをいただく☆



☆第一線延長☆



☆出場選手☆

平成28年度新副団長に聞く



平成28年10月1日に、副団長を拝命いたしました関 正勝です。

郷土に貢献したいと昭和49年7月1日入団、印象に残る災害として平成4年2月29日に発生し、3,300平方メートルを消失した松原火災は今でも心に残っています。

副団長として、健康に心がけ別府市民や別府を訪れる観光客が安心して過ごせるよう、団活動を全うしたいと思います。

近年の事故事例!

- **左下腿（ふくらはぎ）筋断裂**
操法大会練習中、ホースを担い前方へ踏み出した際の事故
- **両踵（かかと）骨折**
揚水訓練中、吸管保持のため川の堤防上から堤防敷に飛び降りた際の事故
- **熱中症**
火災現場でホース延長中発症した事故
- **右半月版損傷**
火災現場で消火活動中、筒先を持ち前進中に痛みを感じた際の事故
以上のような事故が発生しています。
安全管理の徹底をお願いします。

「団活動 訓練・現場で 事故防止」



消防団員募集中

あなたが地域を守る大きな力となります

あなたの力を
買ってください



【問い合わせ・申し込み先】

消防団員募集推進委員（各分団長・副分団長）又は、

別府市消防本部 庶務課（☎代表 25-1122 直通 25-1123）まで！

e-mail: fire-dep@city.beppu.oita.jp

消防団は、地域防災の要として「地域や家族を守りたい」そんな熱い思いで活動続ける集団です。

《消防団幹部視察研修》

＊平成28年5月29日（日）～5月30日（月）

団長以下25名・随行職員1名の計26名で、山口県大島防災センターを視察させていただきました。

この防災センターは、近い将来発生が予想される南海トラフ地震対策として、内閣府地域防災拠点施設整備モデル事業助成金を活用して、平成20年11月に建設された施設で、大規模災害が発生した場合は、施設内に現地災害対策本部が設置されるとのことです。



大島の人口は、17,645人（世帯数9,703世帯）消防団は4地区（玖賀・大島・東和・橘）で62分団、定員972名に対して実員908名が入団しています。

また、大島では、戸別受信機を全世帯に無償で配備しており、防災倉庫も島内に18ヶ所（浄水装置、簡易トイレ等）設置され、防災対策・災害対応における住民の意識は高く、特に共助の必要性を認識し、改めて消防団の大切さと重要性を認識させられました。



その後、施設の設備を使用して液状化のしくみや、地震実感シュミレーションの体験等をさせていただきました。今回お世話になりました、山口県大島防災センター長並びに、関係者の皆様に深く感謝申し上げます。

施設消防団係 加藤 秀一郎

団幹部紹介

団本部

団長 片岡 典之
副団長 藤内 英伸
副団長 関 正勝
本部分団長 中嶋伸一郎

分団

女性分団長 原田かほる
第1分団長 小野 征治
第2分団長 月足 原之
第3分団長 浦野 洋史
第4分団長 堀 正幸
第5分団長 岩尾 一裕
第6分団長 彌田 万平
第7分団長 平松 幹雄
第8分団長 脇 博之
第9分団長 加藤 修二
第10分団長 松田 正一
第11分団長 梶原 英敏
第12分団長 永井 幸己
第13分団長 荒金日出夫
第14分団長 齋藤 孝一
第15分団長 後藤 毅
第16分団長 小川 健
第17分団長 佐藤 博幸

【第22回全国女性消防団員活性化北海道大会に参加して】



平成28年6月3日（金）4日（土）の2日間にわたり「第22回全国女性消防団員活性化北海道大会」が、さっぽろ芸術文化の館と札幌教育文化会館の2ヶ所に分かれ開催され、別府市消防団からは、女性消防団員の秋吉香織が参加してまいりました。

全国から参加した女性消防団員約3,300名が集い盛大に行われ、「今こそ女性のチカラ！広がれ 女性消防団 北の大地から」を大会テーマに、各地域における日頃の活動や、国内外の先進的な取り組みの発表を通じ、幅広い知識を共有し、複雑多様化する地域社会の中で、女性消防団員に対する大きな期待と責任を再確認する大会でした。

今回お会いした全国の仲間たちとの絆を大切に、女性ならではの特性を活かし、細やかな心配りで、女性消防団員として更に努力をしていきたいと思ひます。

研修会の参加に際し、ご尽力いただきました団長・関係者の皆様方に感謝とお礼を申し上げます。

女性消防団 団員 秋吉香織

編集後記

団報「暖」3号をお届けします。
今回は、それぞれの担当が記事を作成し、比較的スムーズに発行できたのではないかと感じています。
記事をご提供いただいた皆様に、感謝申し上げます。
次回は、さらに楽しんでいただける内容にしたいと思います。

施設消防団係員

叙 勲

平成28年春
端宝単光章
元第2分団長

工藤 彪 様

平成28年秋
端宝単光章
元第3分団長

田中 靖章 様

受賞おめでとうございます。

・・・叙勲とは・・・

国家又は公共に対して功労のある者に勲章を授与し、榮譽を与えることを言う。